

補助動・下二・已

補助動・四段・用

響応し、もてはやし聞こえ

サ変・用

四段・用

Ⓚ作者↓入道殿 尊敬「さす」用

Ⓞ作者↓中の関白殿

させ

給ひ

完了「つ」体

つる興もさめて、こと苦うなりぬ。父大臣、帥殿に、

下二・用

形・ク活用・用・ウ音便

「何か射る。な射そ、な射そ。」

係助

副詞

終助

副詞

終助

補助動・四段・用 完了「ぬ」用

と制し 給ひて、ことさめにけり。

サ変・用

Ⓞ作者↓中の関白殿

下二・用 過去「けり」終

機嫌をお取りし、もてなし申し上げていなさつ

た興も醒めて、気まぶくなくなってしまった。父大

臣（道隆）は帥殿に、

「なぜ射るのか。射るな、射るな。」

とお止めになって、場はしらけてしまった。